

經濟論叢

第七十一卷 第一號

- 明治前期の貿易政策 …………… 堀 江 保 藏 (1)
中共貿易の諸問題 …………… 谷 口 吉 彦 (21)
帝國主義の經濟學 (一) …………… 靜 田 均 (50)
價值形態と價值實體…………… 吉 村 達 次 (63)
ドイツ獨占資本とベルリン六大銀行
…………… 大 野 英 二 (79)
甘土料の基本的性格 …………… 柏 尾 昌 哉 (104)
-

[昭和二十八年一月]

京都大學經濟學會

京都大學經濟學會規則

- 第一條 本會を京都大學經濟學會と稱する
 第二條 本會は左の會員を以て組織する、助教、講師
 (一) 正會員 京都大學經濟學部教授、助教、講師
 (二) 學生會員 京都大學經濟學部學生
 (三) 贊助會員 本學部に於て壹ヶ年壹万円以上の據金をなしたる者
 第三條 (一) 名譽會員 京都大學法學部教授、助教、講師
 前條の會員外にて處定の會費を納めて「經濟論叢」の紙布を受ける個人及團體は購讀會員とす
 本會の事務所は京都大學經濟學部内に置く
 第四條 本會は左の事業を行う
 一、機關雜誌「經濟論叢」を發行すること
 二、別號を發行することがある
 三、「經濟學研究叢書」を發行すること
 四、毎月一回公開講演を開催すること
 五、毎年一回公開講演を主催すること
 (略)
 第六條 會員には雑誌を配布する、但し臨時特別號は此限りではな
 第七條 會員は左の會費を納めなければならない。
 (一) 正會員 八百円
 (二) 學生會員 七百円
 (三) 贊助會員 年額壹万円以上
 (四) 購讀會員 年額八百円以上
 但し特別の場合に限り右に定められた會員の外に會員に準ずる取扱いをする事ができる。
 (略)
 第十條

昭和二十七年六月

京都大學經濟學會

卒業生名簿發行に當つて

京都大學經濟學部は創立以來すでに三十餘年の歴史を誇り、七千七百三十餘名に上る卒業生各位が實業界、官界、學界その他あらゆる方面に活躍して居られますことは、御同慶に堪えない次第で御座います。卒業生各位の御動靜をおたいに知り合ひたいは如何にかにつけて便利であり、學部將來の發展のためにも都合がよいと存じまして、この度又新たに京都大學經濟學部卒業生名簿を發行することにいたしました。

従來「京都大學經濟學會雑誌」がありましたが、昭和十八年發行のものを以て終りとなつて居るばかりでなく「經濟論叢」の購讀會員になつて、住所、勤務先等を掲げるといふような不都合がなりました。今回の名簿はそれより不都合を除き、卒業生をすべて網羅して居ります。概要は左の通りです。

- 一、體裁 B5判 縦組 一三〇頁
 一、内容 卒業生次、アイウエオ順に氏名、出身校、住所、勤務先、電話番号を掲げ、別にアイウエオ順の總索引を附す。
 一、發行日 昭和二十七年十二月
 一、頒 價 二百円(送料とも)
 この機會にぜひ御購入下さいますよう右御案内申上げます。
 尚御送金は振替用紙、小爲替を使つてお申込下さい。
 昭和二十八年一月

京都大學經濟學會

料發生の背景には強い農民の力がなければならぬ。即ち封建領主及び封建的地主層の強い所では慣行小作は生じて甘土料とはなることが出来ない。と共に他方土地生産力の向上と農産物の商品化の進展とによつて擁護されることにより甘土料としての存続を保証されるのである。この封建的地主層に對する農民の力と農産物商品化の進展、土地生産力向上の背景のもとに

甘土料發生の基本的性格は求められねばならない。こゝで今一度甘土料の意義に立返つてこれを明確にして置きたい。永小作權から賃借小作權に連なる慣行小作權の中で小作人自らが最も強力に地主的力を排除して自由に賣買を行ふ一連の慣行小作權を甘土料と言ふべきであらう。従つて作離料、涙金等とは明瞭に區別されねばならない。

執筆者紹介

堀	谷	靜	吉	大	柏
江	口	田	村	野	尾
保	吉		達	英	昌
藏	彦	均	次	二	哉
京都大學教授	京都大學名譽教授	京都大學教授	京都大學助教授	京都大學助教授	京都大學大學院學生

京都大學經濟學會役員 (五十音順)

評議員長

(會計委員)

(研究委員)

(編集委員)

(會計委員)

(編集委員)

(編集委員)

藤 青 阿 岡 大 大 岸 岸 木 佐 靜 島 嶋 田 田 出 中 平 降 穂 堀 堀 前 松 山 山 吉
 積 山 部 橋 野 本 本 原 波 田 津 杉 中 口 崎 谷 井 旗 積 江 江 川 井 岡 岡 村
 文 秀 利 隆 英 正 宣 恭 亮 眞 勇 俊 武 文 英 保 嘉 亮 武 達
 夫 統 良 憲 二 郎 郎 均 平 均 二 彦 競 晴 藏 實 彦 彦 一 藏 一 清 一 雄 次
 雄

會 員

經濟論叢は昨年七月より月々刊行政して
 おりますが、この機会に會費を御納入下
 さいませうお願い致します。

一、會費納入先

京都市左京區吉田本町

京都大學經濟學部内

京都大學經濟學會

振替口座大阪五〇五三九番

- 一、會費 年額 八〇〇圓(前納)
- 一、會員各位の本籍、現住所、氏名、出身高校名、卒業
 年次、就職先を學會まで御通知下さい。
- 一、會員外の雜誌購入は有斐閣へお申込下さい。

昭和二十七年十二月二十五日印刷 會員定價 一〇〇円
 昭和二十八年一月一日發行 定 價 一二〇円

編集兼 發行人 前 田 昇 三

印刷所 株式會社 玉文堂
京都市中京區千本通二條上ル
 由良伊之助

發行所 京都大學經濟學會
京都市左京區吉田本町
振替口座大阪 五〇五三九番

發賣所 株式會社 有斐閣
東京都千代田區神田
 神保町二丁目十七番地
 京都市左京區北白川
 農學部電停前

本 社
 京都支店

Keizai-Ronso

(THE ECONOMIC REVIEW)

Vol. 71, No. 1

January, 1953

- Foreign Trade Policy in the Meiji Era Early *Y. Horie*
Problems in Communistic China's Foreign Trade
..... *Y. Taniguchi*
Mr. J. A. Hobson's Theory in Imperialism *H. Shizuta*
Form of Value and Substance of Value *T. Yoshimura*
German Monopol-Capital and Six Great Banks
in Berlin *E. Ôno*
Fundamental Charcters of the "Amatsuchi-Ryo"
..... *M. Kashio*

Published

by

KYOTO DAIGAKU KEIZAIGAKU-KAI

(KYOTO UNIVERSITY ECONOMIC SOCIETY)